

## 平成 19年度 高専専攻科・大学編入学受験報告書

1. 受験者氏名 情報 工学科 5年 16番 氏名 土本 良樹
2. 受験大学等名 大阪 大学 基礎工 学部 情報科 学科 計算機科学 コース  
工業高等専門学校 専攻科 工学専攻
3. 推薦・学力別  推薦  学力
4. 受験期日 8月 3日 (木) ~ 8月 4日 (金)
5. 試験内容について(試験科目・問題等について, 具体的に記入して下さい。また, 面接については, 質問内容・面接方法及び受験して感じたこと等を記入して下さい。)

### 1. 結果 合格

### 2. 試験科目

1日目: 英語, 物理, 数学, 専門      2日目: 面接

### 3. 試験内容

英語 (90分)

1) 英文和訳, 2) 長文, 3) 空所穴埋め (選択), 4) 和文英訳

物理 (90分)

1) 抵抗力が働く落下運動の速度・変位・終端速度  
2) ローレンツ力とクーロン力のつりあい  
3) 理想気体の準静的過程の仕事・与えた熱量・内部エネルギー変化

数学 (120分)

1) 重積分, 2) 行列式と対角化, 3) 確率

専門 (90分)

1) アルゴリズム (クイックソート)  
2) 論理設計 (組み合わせ回路・D-FF を用いたムーア型順序回路の設計)  
3) 計算機の仕組み (アセンブラで再帰を用いて階乗を求める)

面接 (約 10分)

志望動機, 併願校, 試験の出来など  
色々とおっこまれたので, 30分ほど続けました。

#### 4 . 試験の出来

英語：7～8割      物理：8～9割      数学：6割      専門：3割（笑）

#### 5 . 傾向と対策

過去問は学生課にあります。あまり見てないので詳細はわかりませんが、傾向はここ数年ほぼ変わってないようです。直前に名古屋大学、直後に京都大学の試験があったため、阪大基礎工の対策はほとんど行っておりません。ただ、専門はきっちり過去問を見て分析したらよかったかも...。専門は京都大学用の対策だけで何とかなると思ったのですが、何ともなりませんでした（笑） 阪大の専門は、「コンピュータの気持ちになる」必要があるように思います。根気よくソースプログラムを読んでいく能力が要求されるようです。人気校なのに有益な情報を提供できなくてごめんなさい。

細かい対策などは、齋藤君と沼口君の報告書を参照してください！

#### 6 . その他

受験者約 100 名のうち、奈良高専からは 20 人ほど受けました。見たことのある顔ばかりでかなりアットホームな感じで試験が受けられます。

学校の授業をきっちり理解して、受験勉強も手を抜かずに行うと、合格圏内に入ると思います。いくら学校の成績が 90 点あるからといって、定期試験前に丸暗記し取っているようでは苦しいかもしれません。

試験科目などを考慮して、お勧めの併願校は、名工大、金沢大、筑波大、千葉大です。確実に滑り止めを作りたいなら、豊橋技科大もお勧めです。名工大や筑波大が不合格でも何とか阪大では逆転可能ですが、金沢大や豊橋を不合格になった場合は阪大は非常に厳しいです。阪大基礎工以降の併願校としては、神戸大が良いと思います。

また、ここは化学がないため、化学を勉強しないほうが他の教科に時間を費やすことができ、断然有利だと思います。阪大工学部や東工大などの化学が課せられる大学と併願予定の方は、注意して受験計画を立ててください。

去年までは阪大基礎工と京大の受験日が被って併願不可でしたが、今年は京大と被らなかつたため（阪大は 3,4 日、京大は 5,6 日）、両方受験することが可能でした。私は京大が本命だったので阪大基礎工は見送る予定だったのですが、併願が可能なることを知り、6 月に受験を決めました。来年以降はどうなるかわかりませんが、併願不可と考えておいたほうがよさそうです。

質問などがあれば以下のアドレスをお願いします！

active\_adventure@msn.com